加藤司フィールドワークゼミナール

テーマ: 小阪の商店街を通じた地域活性化

<mark>前期の活動</mark>は「マーケティング×地域活性化」「ビジネスアイディアコンテスト」『ドリルを売る なら穴を売れ』を読んで、マーケテイング思考を鍛え、各自が「商店街の地域活性化案」を提出。

二回生

①イベント班

商店街には年配の方が多かったためターゲットを子供メインの親子に決め、「オリジナルマイバッグ」をイベントとして行うことになった。理由は多くの店舗で袋が有料になったためにマイバックの需要が高まったことや、コロナ対策がしやすいからだ。イベントの枠組みを決めたところで、早速マイバッグの試作に取り組んだ。無印良品で無地のバッグと布用のクレヨンを購入し、持参したアイロンを使用して作成した。

②空き店舗班

商店街に学生が居ないことが問題だと感じ、学生をターゲットにした空き店舗の活用を議論しました。そこで、滋賀の成安造形大学の学生に依頼して服やマスクなどを作ってもらい、空き店舗で展示・販売することにしました。服飾にした理由として大きく2つあり、学生をターゲットにしているので多くの学生に興味がありそうなファッション分野にしたという理由と今までにない試みをしたいという思いがあったので、この案に決めました。実際に空き店舗を使って販売するのは来年の春か夏ごろを予定しています。宜しければ足を運んでください!

③情報発信班

情報発信班は、河内小阪の商店街のアピールしていくことを決めました。多くの人の目に触れるSNS(InstagramやTikTok、Twitter)を活用して、協力してくれる店舗の情報を発信していきます。

新型コロナウィルスの影響で、実践的な活動は行えませんでした。 今後の活動としては、空き店舗班やイベント班とも連携し、商店街を活性化させるための情報収集や発信を行っていきます。

三回生

1 情報発信班

今までは地域の人が、ターゲットでしたが、取材などを通して、次回は若者向けの内容にすることになりました。

②サンサン祭り

今年は新型コロナの影響により開催ができませんでした。去年のサンサン祭りでは、ステージ企画・おもちゃとりかえっこ・スタンプラリーを行いました。

③運動会

大学側の許可が下りなかった為オンラインイベントを企画中 Coming Soon...

4)空き店舗班

新型コロナで訪れにくくなった商店街にもう一度来 てもらうため、商店街周辺のお客さんをターゲット としたフリーマーケット(子供の絵本など)を来夏 の開催を目標として企画・進行中。











